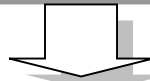


## 第2編 鉄道交通の安全

### 1. 鉄道事故のない社会を目指して

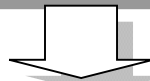
鉄道は、多くの県民が利用する生活に欠くことのできない交通手段です。県民が安心して利用できる、一層安全な鉄道輸送を目指し、重大な列車事故やホームでの事故への対策等、各種の安全対策を総合的に推進していきます。



### 2. 鉄道交通の安全についての目標

乗客の死者数ゼロを目指します

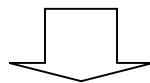
運転事故全体の死者数減少を目指します



### 3. 鉄道交通の安全についての対策

(2つの視点)

- ① 重大な列車事故の未然防止
- ② 利用者等の関係する事故の防止



(6つの柱)

- ① 鉄道交通環境の整備
- ② 鉄道交通の安全に関する知識の普及
- ③ 鉄道の安全な運行の確保
- ④ 鉄道車両の安全性の確保
- ⑤ 救助・救急活動の充実
- ⑥ 被害者支援の推進



## 第2編 鉄道交通の安全

### 第1章 鉄道交通安全の目標等

#### 1 鉄道事故のすう勢等

##### (1) 鉄道事故のすう勢

全国的に見ると、鉄道における運転事故は、長期的には減少傾向にあり、令和元年は605件発生し、また、死者数は247人、負傷者数は360人でした。

なお、平成17年には乗客106人が死亡したJR西日本福知山線脱線事故及び乗客5人が死亡したJR東日本羽越線列車脱線事故が発生しましたが、平成18年から令和元年までの間は乗客の死亡事故は発生していません。

近年の運転事故の特徴としては、人身障害事故は約6割、踏切障害事故は約3割を占めており、両方で運転事故件数全体の約9割を占めています。また、死者数については、人身障害事故と踏切障害事故がほぼ全てを占めています。

##### (2) 千葉県における鉄道事故の発生状況

千葉県下における鉄道の運転事故については、近年は30件台前後で推移していますが、長期的には若干増加傾向にあり、令和元年度は35件の運転事故が発生し、死者数は8人、負傷者数は20人でした。

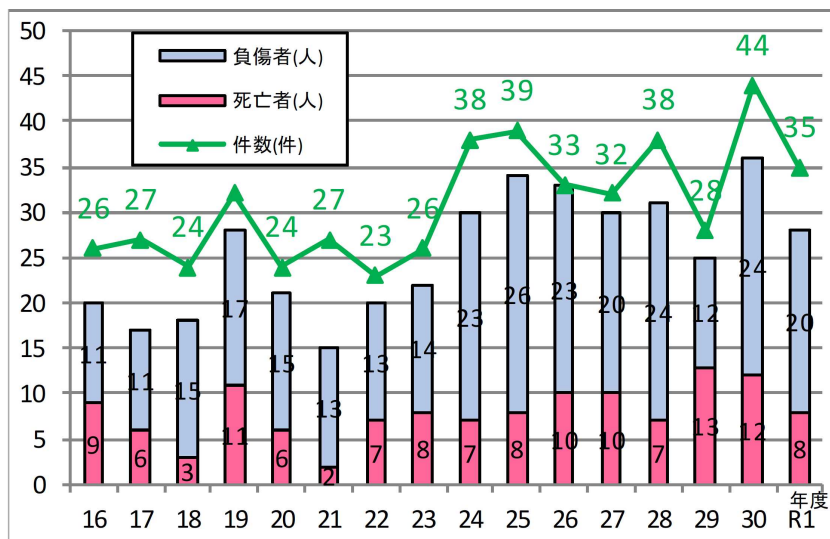
また、令和元年度の人身障害事故21件のうち、ホームでの接触事故（ホーム上で列車等と接触又はホームから転落して列車等と接触した事故）については15件であり、全体の約7割を占めています。

##### ①運転事故の種類別発生状況（令和元年度）（上段：件、下段：比率）

列車脱線	列車衝突	列車火災	踏切障害	道路障害	人身障害	物損	合計
0	0	0	14	0	21	0	35
0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	100.0%

（関東運輸局鉄道部HPから）

② 運転事故の件数及び死傷者数の推移



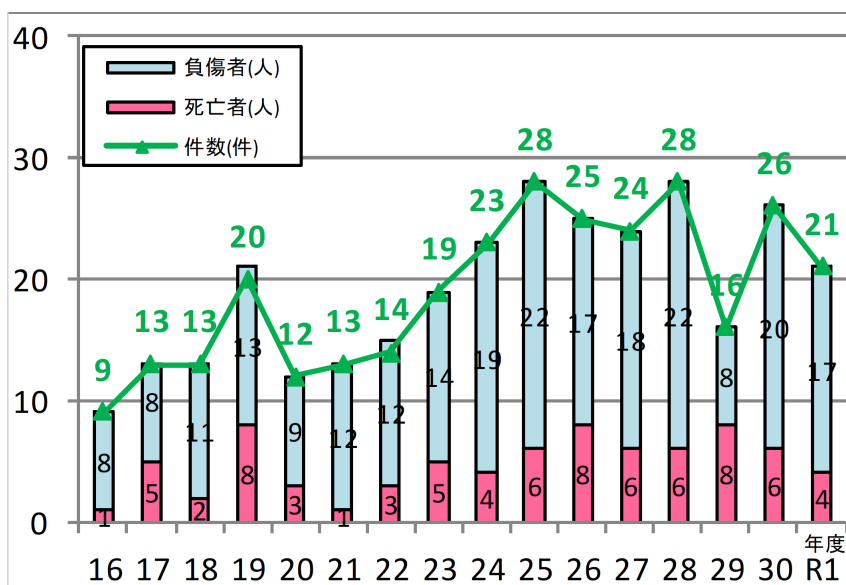
(関東運輸局鉄道部HPから)

③ 人身傷害事故の原因別発生状況 (令和元年度) (上段：件、下段：比率)

線路内立入り	ホームから転落	ホーム上で接触	その他	合計
6	2	13	0	21
28.6%	9.5%	61.9%	0.0%	100.0%

(関東運輸局鉄道部HPから)

④ 人身傷害事故の件数及び死傷者数の推移



(関東運輸局鉄道部HPから)

## 2 交通安全計画における目標

- ① 乗客の死者数ゼロを目指す。
- ② 運転事故全体の死者数減少を目指す。

列車の衝突や脱線等により乗客に死者が発生するような重大な列車事故を未然に防止することが必要です。また、近年の運転事故等の特徴等を踏まえ、ホームでの接触事故等を含む運転事故全体の死者数を減少させることが重要です。

近年は人口減少等による輸送量の伸び悩み等から、厳しい経営を強いられている事業者が多い状況ですが、引き続き安全対策を推進していく必要があります。

こうした現状を踏まえ、県民の理解と協力の下、第2章および第3編第2章に掲げる諸施策を総合的かつ強力で推進することにより、乗客の死者数ゼロを継続すること、及び運転事故全体の死者数を減少させることを目指すものとします。